

---

# 広報 伊万里

活力あふれ ひとが輝く 安らぎのまち

---

平成30年度 予算特集号



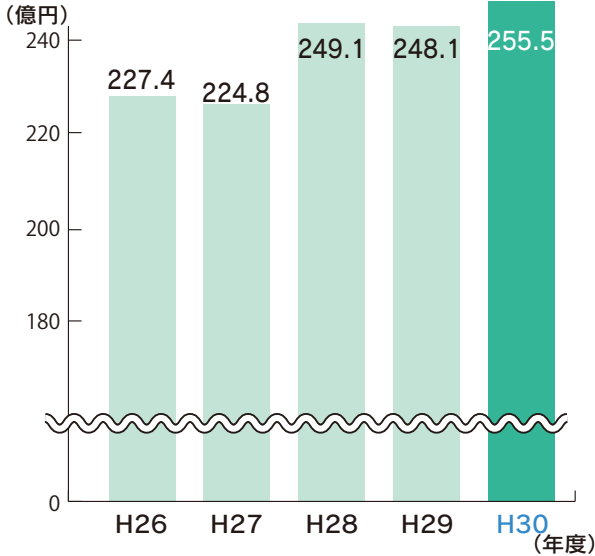
# 一般会計

平成30年度6月補正後予算総額

# 255億5,167万円

## 一般会計予算額の年度別推移

※平成26年度、平成30年度は6月補正後

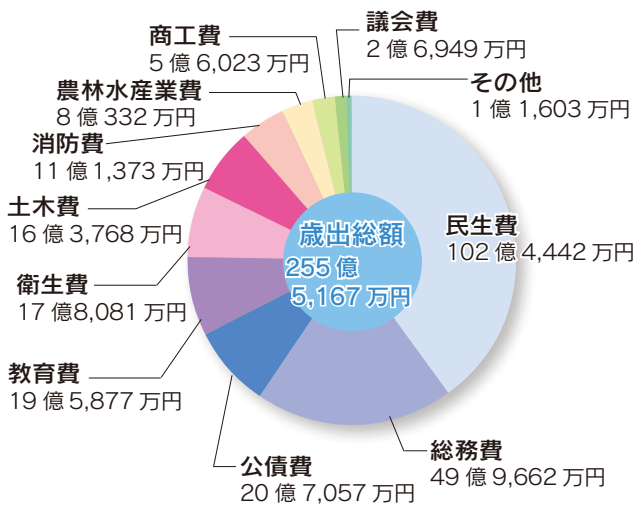


平成30年度は4年に1度の市長改選の年に当たり、当初予算は、義務的経費や経常的経費などを中心とした骨格予算でした。そのため、今回の補正予算では、堅実な行財政運営を基本としながら、『人づくり』に重点を置き、将来を見据えた取り組みを推進するための具体的な経費を追加し、予算の肉付けを行いました。

また、厳しい財政運営の中で、事業の重要性や緊急性を考慮し、優先順位を決めるとともに、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に努め、厳選した事業を中心とする予算編成を行いました。

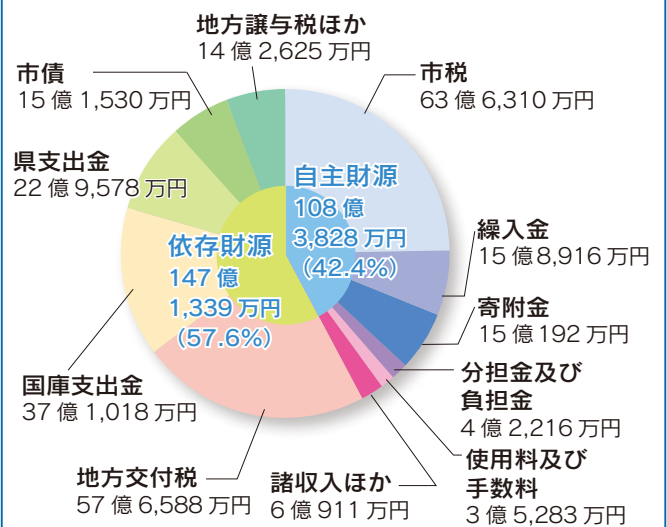
その結果、今年度の6月補正後の伊万里市一般会計予算は、総額で255億5,167万円となり、平成29年度の同期（6月補正後:255億2,222万円）と比較すると0.1%の増加となっています。

## 歳出



- **民生費**………社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です。
- **総務費**………企画や男女協働、国際交流など、主に総務部門に要する経費です。
- **公債費**………借入金の返済に要する経費です。
- **教育費**………小・中学校などの学校教育や社会教育、保健体育など教育全般の経費です。
- **衛生費**………保健衛生や、ごみの収集・処理などに要する経費です。
- **土木費**………道路や河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です。
- **消防費**………火災など災害に対応するための経費です。
- **農林水産業費**…農林水産業の振興に要する経費です。
- **商工費**………商工業や観光の振興に要する経費です。
- **議会費**………議会運営に要する経費です。
- **その他**………労働費や諸支出金、災害復旧費などです。

## 歳入



- **市税**………個人と法人の市民税や固定資産税、たばこ税などです。
- **繰入金**………基金や特別会計からの繰入金です。
- **寄附金**………ふるさと応援寄附金など、個人や法人などから受ける金銭寄附です。
- **分担金及び負担金**…災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです。
- **使用料及び手数料**…施設の使用料、戸籍や住民票の謄抄本の手数料などです。
- **諸収入ほか**………雑入などです。
- **地方交付税**………国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです。
- **国庫支出金**………国からの負担金や補助金です。
- **県支出金**………県からの負担金や補助金です。
- **市債**………市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です。
- **地方譲与税**………国税から譲与されるものです。

**表 1** 特別会計予算額

特別会計名	予算額
国民健康保険	63 億 7,603 万円
介護保険	61 億 1,187 万円
立花台地開発事業	1,386 万円
公共下水道事業	23 億 55 万円
農業集落排水事業	1 億 4,859 万円
市営駐車場	1,160 万円
後期高齢者医療	14 億 2,091 万円
計	163 億 8,341 万円

**表 2** 企業会計予算額

区分	水道事業	工業用水道事業
収益的収支	収入	15 億 2,698 万円
	支出	15 億 2,698 万円
資本的収支	収入	6 億 8,475 万円
	支出	14 億 1,034 万円

**表 3** 市債現在高

会計区分	現在高	
一般会計	218 億 4,955 万円	
特別会計	国民健康保険	2 億 5,000 万円
	公共下水道事業	101 億 1,306 万円
	農業集落排水事業	9 億 4,076 万円
計	331 億 5,337 万円	

会計区分	現在高	
企業会計	水道事業	55 億 1,156 万円
	工業用水道事業	119 億 503 万円
計	174 億 1,659 万円	

※平成 30 年 5 月末の現在高です。

※主な借入先は、財務省、地方公共団体金融機構、佐賀県、市中金融機関などです。

## 特別会計

特定の事業を行う際、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要があるので、特別会計を設けています。

平成 30 年度は、表 1 のとおり 7 つの特別会計を設けており、その予算総額は、163 億 8341 万円となっています。

### ■国民健康保険特別会計

国民健康保険税や県支出金を主な財源として、医療給付などを行うための会計です。

### ■介護保険特別会計

介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスをを行うための会計です。



### ■立花台地開発事業特別会計

公共事業に伴う代替地供給を目的とした、宅地開発を行うための会計です。

### ■公共下水道事業特別会計

快適な生活環境の実現をめざし、下水道の整備や処理場の維持管理を行うための会計です。

### ■農業集落排水事業特別会計

農村地域の快適な生活環境の実現をめざし、排水事業を行うための会計です。

### ■市営駐車場特別会計

中心市街地や商店街などへの来訪者の利便を図る目的で設置している市営駐車場を管理・運営するための会計です。

## 企業会計

### ■後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度の適用を受ける 75 歳以上の高齢者と 65 歳以上で一定の障害がある人から徴収した保険料を、佐賀県後期高齢者医療広域連合に納付する会計です。

## 市債現在高

水道事業特別会計  
安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

工業用水道事業特別会計  
工業用水を供給するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

地方公営企業法の適用を受け、特別会計の中でも経営成績を明確にする必要があるため、次の 2 つの企業会計を設けています。それぞれの会計ごとの予算額は、表 2 のとおりです。

建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県金融機関などから資金を借り入れています。市債の現在高は、表 3 のとおりです。

# 市政発展の基礎となる 人づくりに 重点的な投資を

今年度は、市長改選の年に当たり、当初予算は義務的、経常的経費などを中心とした言わば骨格予算でした。今回の補正予算で投資的経費や政策的経費などを追加し、予算の肉付けを行ったところです。

この議会では、補正予算などの審議に先立ち、4月27日に就任した深浦弘信市長が市政運営について所信表明を行いました。その一部を紹介します。

先の市長選挙において、市民の皆様  
の温かいご支持により、市政運営への  
負託をいただいたことは、この上ない  
光栄に存じます。

これまで経験したことのない人口減  
少社会を迎え、重要課題が山積してい  
る中、市長に就任しましたことに、そ  
の使命と責任の重さを再認識し、まさ  
に身の引き締まる思いであり、これま  
での行政経験で培った私の持てる力を  
十分に発揮し、自ら限界を設けること  
なく課題の解決に真摯に取り組み、責  
任をもってやり遂げる覚悟です。

私は、選挙活動を通して、地域の隅々  
まで足を運び実情に触れながら、地域  
の皆様とご意見を交わす中で、まさに  
『課題は現場にある』こと、まちづく  
りの課題はまちに身を置いてこそ発見  
できることを痛感しました。

このことから、私は職員とともに、  
あらゆる機会を捉えてまちに出て、ふ  
るさとへの熱き想いにあふれた市民の  
皆様との対話を深め、この伊万里が、  
本当に『住んでいてよかった』と実感  
できるまちになるよう、『仁政』の志を  
もって、市政運営に邁進する所存です。

さて、我が国の総人口は平成20年を  
ピークに減少局面に入っており、国を  
挙げての地方創生の取組が進められて  
いますが、人口減少に歯止めがかから  
ない状況に変化はありません。



伊万里市長 深 浦 弘 信  
Hironobu Hukaura

本市の人口動向についても同様であり、市民福祉のさらなる向上と地域の発展を図るためには、これまで以上に限られた資源を有効に活用し、市政運営の仕組みや考え方、予算の優先順位や使い方を常に検証し見直していくことが大切であると考えています。

もちろん、このような状況にあつても、将来を見据えた施策の展開は必要であり、特に市勢発展の基礎となる『人づくり』については、重点的な投資ができるよう、取組を再構築してまいります。

将来の発展のためには、子どもから高齢者、障害のある人などあらゆる市民の皆様が、生き生きと活躍できるステージをいかに用意できるか、また、担い手となる人材をいかに確保するかが鍵を握ります。

特に、子どもは未来を担う大切な宝であり貴重な人材です。その育成を図るため、学校現場との対話を深め、まずは老朽化が著しい学校施設の整備や維持補修を最優先で進めるなど、子どもの学習環境の整備に取り組みます。

また、将来に希望が持てる伊万里市を実現するため、交流人口の拡大や仕事づくりを力を入れ、地域のまちづくり活動を積極的に支援するなど、信念を持って多彩なまちづくりに取り組んでまいります。

※次ページからは、主要な施策の概要と予算などについて、総合計画の5つのまちづくりの目標に沿って説明します。